

◆ 礼 服 ◆

モデルはおしゃれが大好きな高校3年生の女子です。
これから社会に出るにあたって必要な礼服がほしいという希望がありました。
これまでに蓄積された着替えやすくなるための様々な工夫が盛り込まれています。



仮縫いの様子

1. 袖

着替えやすいように脇から袖口にかけてオープンファスナーをつけました。
肘内側にダーツを入れて動きやすくしました。



2. 肩

肩にスリットを入れ、ベルトを通せるようにしました。ベルトは襟隠れます。



3. 襟

汚れた時に簡単に取り替えられるようになっています。



夢を叶える服づくりを広げるために (平成25年度)

1. スーツ

岡山県にある倉敷スクールタイガー縫製(株) (倉敷ST) との共同で、スーツ2着の開発に取り組みました。
モデルは高校2年生と高校3年生の男子です。尾州が得意とするスーツ生地を使い、倉敷STがもつ障がい者向けスーツづくりのノウハウを盛り込んだ、動きやすく着替えやすいスーツができました。
スーツ生地はストレッチ性、消臭性を備えています。



開発の様子

2. これまでの成果品を多くの人たちへ届けるための取組

これまで開発してきた服は一人のモデルの特性に合わせてつくられた、いわゆるフルオーダー服です。そのため、多くの人々が手軽に着用するのは難しいのが現実です。しかし、様々な工夫やパターンは他の人たちへも活用できます。

そこで、以前とは違うモデルにこれまでの成果品を着用してもらい、パターンの変更や新しい縫製方法を検討しました。

①背中や臀部に縫い代のない新しい縫製手法を試みました。

②ポリプロピレン紡績糸を使った織物と薄い防水透湿フィルムを貼り合せた生地を開発し、レインケープに採用しました。

このような取り組みを続けてより多くの人たちに届けられる服をこれからも開発していきます。

